**建設キャリアアップシステム活用モデル工事**

**活用状況アンケート**

公共工事の品質を確保するためには、優れた技能と経験を有する技能者を将来にわたって確保・育成することが不可欠であることから、建設キャリアアップシステム（以下、「CCUS」という。）の活用を促し、技能者の処遇改善及び中長期的な技能者の確保・育成に配慮することが求められています。

このため、本県では「第三次三重県建設産業活性化プラン」の取組に位置付け、CCUSの建設現場での活用促進を図ることを目的とし、「モデル工事」を実施しています。

今後の「モデル工事」の拡充等を検討するにあたり、当該工事におけるアンケートを実施しますので、ご協力をお願いします。なお、アンケートは工事完了後に発注者へ打合せ簿により提出するとともに県土整備部建設業課(kengyo@pref.mie.lg.jp)までメールで回答をお願いします。

工　事　名：

請負業者名：

以下のアンケート項目について回答してください。

* 1. **活用モデル工事について**
		1. いつ事業者登録を完了しましたか。

Ａ.

（例：入札の約１カ月前）

* + 1. いつ現場登録を完了しましたか。

Ａ.

（例：契約後（約１０日以内））

* + 1. いつカードリーダーを設置しましたか。

Ａ.

（例：現場着手時（契約後１カ月以内）

* + 1. いつカードリーダーを撤去しましたか。

Ａ.

（例：現場完了時、設置から撤去まで約●カ月現場で使用）

* 1. **下請企業の事業者登録について**
		1. 当該工事における下請企業数

Ａ. 　　　　　　　　　　　　　　　　　（例：７社）

* + 1. 当該工事における下請企業のCCUS事業者登録数

Ａ. 　　　　　　　　　　　　　　　　　（例：５社）

* + 1. 当該工事における下請企業のCCUS事業者登録率（②/①×100）

Ａ. 　　　　　　　　　　　　　　　　　（例：７１％）

* + 1. 元請企業として下請企業に対してCCUS加入に関する取組を行いましたか。

Ａ. はい・いいえ　　　　　（どちらを選択）→　はいの場合は⑤へ

* + 1. 行なった場合は、どのような取組を行いましたか。

Ａ.

（例：CCUSの有効性をパンフやシステムで説明、下請契約の条件　等）

* 1. **技能者の登録について**
		1. 当該工事における技能者数

Ａ. 　　　　　　　　　　　　　　　　　（例：２５人）

* + 1. 当該工事におけるCCUS技能者登録数

Ａ. 　　　　　　　　　　　　　　　　　（例：１５人）

* + 1. 当該工事におけるCCUS技能者登録率（②/①×100）

Ａ. 　　　　　　　　　　　　　　　　　（例：６０％）

* + 1. 元請企業として技能者に対してCCUS加入に関する取組を行いましたか。

Ａ. はい・いいえ　　　　　（どちらを選択）→　はいの場合は⑤へ

* + 1. 行なった場合は、どのような取組を行いましたか。

Ａ.

（例：CCUSの有効性をパンフやシステムで説明、下請契約の条件とした　等）

* 1. **就業履歴の蓄積について**
		1. 当該工事におけるカードリーダーへタッチ等をして現場へ入場（就業履歴の蓄積）した技能者数（３．②の技能者が対象）

Ａ. 　　　　　　　　　　　　　　　　　（例：１３人）

* + 1. 当該工事における概ねの就労履歴蓄積率

Ａ. 　　　　　　　　　　　　　　　　　（例：約５０％）

* + 1. 就業履歴の蓄積を進めるための具体的な取組を行いましたか。

Ａ.

（例：月１回就業履歴を本人へ提示、掲示物での啓発、朝礼時の義務化 等）

* 1. **施工体制等の活用について**
		1. 施工体制台帳や作業員名簿の作成にあたり、CCUSを活用しましたか。

Ａ. はい・いいえ　　　　（どちらを選択）

* + 1. 技能者の資格者情報の確認にあたり、CCUSを活用しましたか。

Ａ. はい・いいえ　　　　（どちらを選択）

* 1. **CCUS普及促進について**
		1. CCUS普及促進に向けた取組として有効と思われる対策はありますか。

Ａ.

（例：加入のための説明会、モデル工事の現場見学会、登録代行申請の拡大

元請企業による下請企業の登録申請の補助 等）

* + 1. CCUS利用の課題は

Ａ.

（例：メリットが見いだせない、登録のメリットの説明が難しい

利用料金が高い、システムへの登録が複雑で作業に時間がかかる　等）

以上でアンケートは終了です。